

# 離島の振興を促進するための宿毛市における産業の振興に関する計画

平成30年4月1日

高知県宿毛市

## 1. 計画策定の趣旨

宿毛は、土佐でも早くから開けた集落で、文明年間には対明貿易の基地として繁栄した歴史あるまちであり、美しい自然と人情豊かで素朴な住民性を保持し、明治維新以後、我が国の発展のために活躍した多くの人材を輩出した由緒あるまちです。

また、気象的・地形的条件に恵まれて農林水産業を中心に各種産業が発展し、四国西南地域の中堅都市として繁栄する中で、昭和29年3月31日の町村合併促進法施行を機に宿毛・小筑紫・平田・山奈・橋上・沖の島の6か町村が合併し、面積284.79km<sup>2</sup>、人口32,500人余りを擁する宿毛市として誕生しました。

しかしながら、地理的条件、全国的な産業に関する動向などで産業基盤の整備が立ち遅れ、我が国の高度経済成長期には過疎化が進行しました。平成30年1月1日現在の人口は20,965人、高齢化率は35.7%となっています。

昭和49年には、「80年代にふさわしい魅力ある宿毛市」の建設を目指して宿毛市総合開発計画基本構想を策定し、昭和52年には、国の第3次全国総合開発計画の課題地域に選定され、現在まで、高知西南中核工業団地の造成をはじめとした産業基盤、重要港湾や鉄道宿毛線などの交通運輸体系整備、公共下水道などの社会資本整備、福祉の充実、学校教育の振興に努めてきました。

当市には、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域に指定されている沖の島と鵜来島、2つの離島があります。沖の島は、宿毛市片島より海上約24kmに位置し、鵜来島は宿毛市片島より海上約23kmに位置する平坦な土地が少ない地形の「孤立小型離島」です。過疎化、高齢化が進み、コミュニティ機能など地域力の維持が大きな課題となっており、産業の振興、交流人口の増加のための取組を行っています。

沖の島及び鵜来島が、今後さらに豊かで活力に満ちた地域社会を築いていくためには、行政はもとより島民の心を一つにあわせた取組が必要であり、そのためにも、新たな発想と中長期的、総合的視点にたった発展の方向を定めることが重要です。

## 2. 計画の対象とする地区

本計画の対象となる地域は離島振興対策実施地域として指定されている沖の島及び鵜来島を対象とします。

## 3. 計画期間

本計画の計画期間は、平成30年4月1日から平成35年3月31日までとします。

#### 4. 対象地区の産業の振興の基本的方針

##### (1) 産業の現状

宿毛市では、第1次産業は、農林水産業の担い手の高齢化と相まって、農林水産物の価格の低迷等による労働力他産業への流出等により後継者不足に拍車がかかり、今後においても就業人口の減少傾向は続くものと想定されるものの、農水産品の加工品製造やブランド化などを通じた生産量拡大、収益増加、林業の活性化により増加が見込まれます。

また、第2次産業は、公共工事の減少などにより建設業に減少が想定されるものの、加工から販売までを行う事業所が起業し現在も操業するなど、地場産業振興や宿毛湾港工業流通団地への企業誘致など、就業機会の増大により増加が見込まれます。

第3次産業は、多種多様化する市民生活のニーズや都市機能の充実等により、若者層の定住化や、情報関連や福祉関係のサービス業を中心に今後もさらに増加が見込まれます。

沖の島地域においては、恵まれた地域資源を生かした、磯釣りやダイビングなどの海上レジャー産業、渡船業や旅館業をはじめとするサービス業が中心となっています。これまで基幹産業であった漁業が、高齢化・担い手不足などの理由により衰退し、就業者数は減少の一途をたどっています。

農業については、生産物のほとんどが自家消費用となっていますが、貴重な地域資源であり、観光業との連携による地域振興が議論されています。

ダイビング等、宿泊を伴う観光客数が多くみられますが、情報化の進展により、観光客誘致において地域の情報の発信力が問われています。しかしながら、この点が非常に弱く、全体的な観光入込客数は、ここ数年、ほぼ横ばい状態が続いています。

##### (2) 産業振興を図る上の課題

市全体では、商業において、経営規模が小規模な事業者が多いことに加え、長引いてきた経済不況や消費者の購買形態の変化などにより、商店数の減少や空き店舗が増加しています。そのため、市内全域において、均衡のとれた魅力ある商業振興が必要となっています。

沖の島地域の水産業については、黒潮が流入していることで好漁場を形成しているものの、高齢化や担い手の減少などによる漁業従事者の減少や漁価の低迷、燃油価格の高騰に加え、離島ゆえの問題である輸送や生産資材の調達面で恒常的に高コストとなるなど、取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、これらの改善が喫緊の課題となっております。

沖の島地域の農産物については、ほとんどが自家消費用となっていますが、貴重な地域資源の一部であり、ビジネスの創出に向けた活用が議論されております。

しかしながら、高齢化の進展や厳しい生活環境により人口減少に歯止めがかからず、人材の確保が非常に難しく、大きな課題となっております。

また、イノシシによる被害が年々増加しており、地域資源を守るため、駆除・防除といった有害鳥獣対策が重要な課題となっています。

沖の島の観光業については、夏季繁忙期に宿泊施設が不足することや情報発信力の弱さなど、受け入れ態勢が課題となっております。

## 5. 産業の振興を図るため促進を図ろうとする業種

製造業

旅館業

農林水産物等販売業

情報サービス業等

個人の営む水産業

## 6. 事業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等との役割分担

### 【宿毛市】

経営の安定化、合理化や近代化、地元において起業意欲のある人材の発掘・育成を支援するため、租税特別措置の活用促進、不均一課税などの制度活用に努めていきます。雇用情勢が厳しい離島地域における雇用創造、産業振興等の取組等を推進し、雇用機会の確保に努めます。

また、離島の持つ地理的な特性から発生する輸送コスト高など、産業振興を妨げる要因に対しては、国の事業の導入などによりその低減を図ります。

さらに、離島での就業を促進するため、本土を拠点としている海洋レジャー産業との連携による島内産業の振興や、恵まれた地域資源を活かした新たな商品開発の取組、また人材の育成などについて支援を行い、島内産業の振興と産業おこしを推進し、就業機会の創出を目指します。

### 【高知県】

設備投資・雇用促進・産業育成のため、製造業や情報通信業、試験研究施設等の土地の取得等設備投資をする場合に対し、新規雇用を行う等を要件とした補助金制度があります。

また、産業振興のための人材育成の取組として、ビジネスの基礎から応用・実践力まで身につけることのできる研修を実施しています。

地域林業の振興に効果が認められる提案型の事業や作業道の整備等に対する支援を行っています。

水産業の振興のために、新規漁業就業希望者への研修、助成等の漁業の担い手を確保する取組や、漁業活動の維持、円滑化、高度化のための支援を行っています。

### 【その他】

観光については、宿毛市観光協会、沖の島観光協会がPR活動の推進等の取組を行っています。

## 7. 計画の目標

農林水産業と、観光業との連携による、新たなビジネスモデルの構築や、宿泊施設の増加、情報発信機能の充実に取り組むことを目標とします。

業種	新規設備投資件数	設備投資に伴う雇用者数
製造業	1件	1人
旅館業	1件	1人
農林水産物等販売業	1件	1人
情報サービス業等	1件	1人